

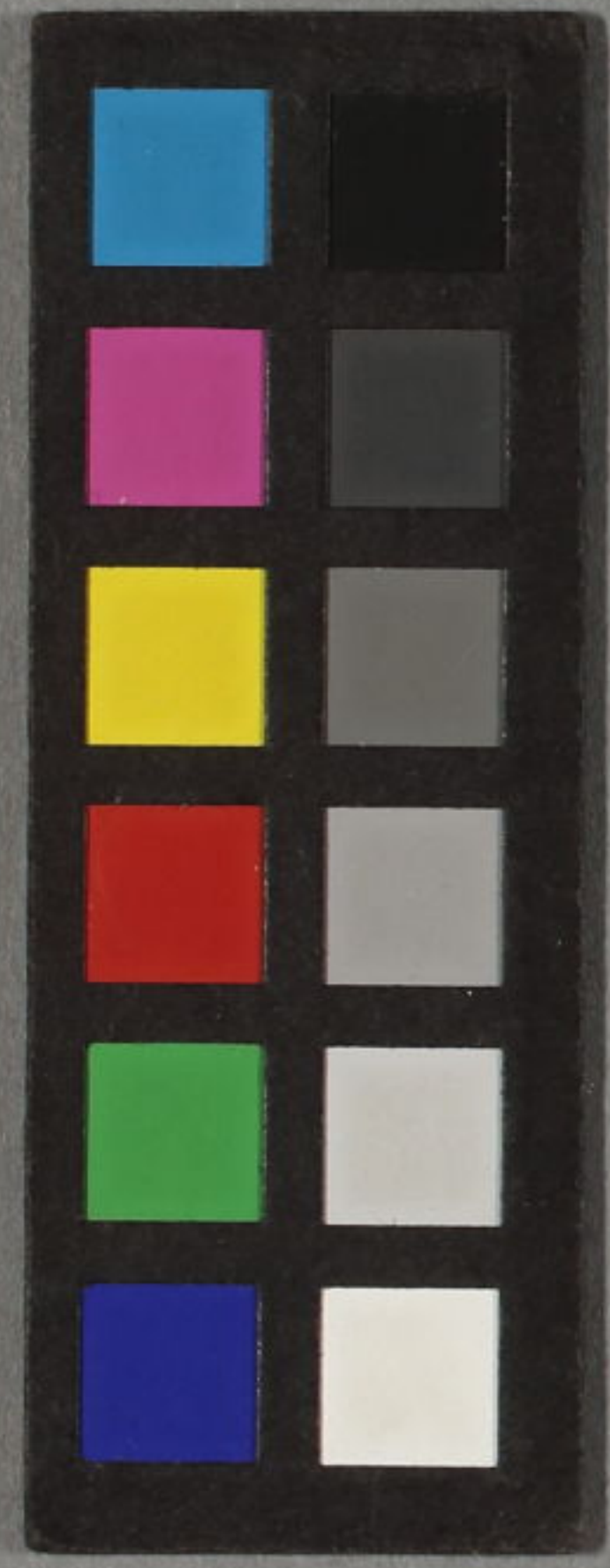
一陽齋豊國通



笠亭仙果作



雪梅の
大の
中紙
二
芳譚編





笠亭仙果作

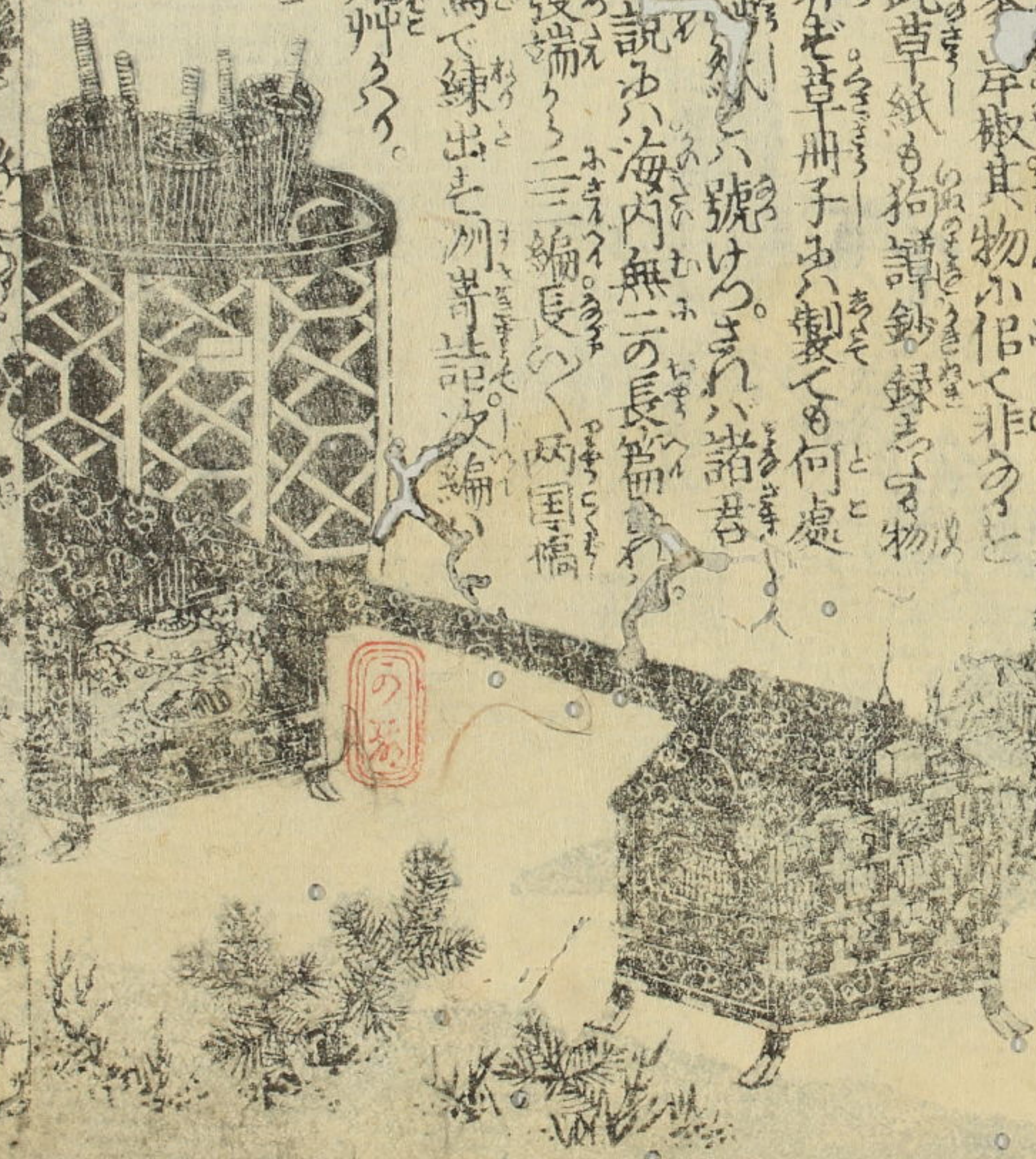
雪梅
芳譚
犬の
中紙
編二

上





緒言
 弘化五年、新春發兌
 犬櫻ハ更タリ、羅漢松馬、年取其物小侶非
 古來ハ、此草紙も狗譚鈔録する物
 作々見立、非草冊子、製ても何處
 讀本あれど、天の號けり、まれば諸君
 此の被書ハ、国字の、説ハ海内無二の長篇
 大團圓、先發端々三編長、二国橋
 馬の錯謬、初編小を、駕で練出、川岸詰、編
 君の野風、爐を、茶を
 一服頂戴、と、子、身と
 仙果識



戊申の
 孟陽

雪梅
 芳譚
 犬の山
 仙果作
 豊国画

二編
 上の巻

中摘
 松榮
 梓堂



玉章怨灵

如



この巻紙、あつちのうらを
うらめしきあつちのうらめし
その巻紙、うらめし
この巻紙、うらめし
この巻紙、うらめし
この巻紙、うらめし

八郎の
片子
三

提 心

女のまはるまはる
さうしやうをまね
さうしやうをまね
さうしやうをまね
さうしやうをまね
さうしやうをまね

入るまはる
このまはるまはる
このまはるまはる
このまはるまはる
このまはるまはる



上野岡村
逆作の女あり

金球奉利秋
小秋

後
大助
孝助

善

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It appears to be a detailed account or report.

Handwritten text in a cursive script, possibly a concluding section or a separate entry. The handwriting is consistent with the rest of the document.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It appears to be a detailed account or report.

Handwritten text in a cursive script, possibly a concluding section or a separate entry. The handwriting is consistent with the rest of the document.



Handwritten Japanese text in kuzushiji script, arranged in vertical columns. The text appears to be a dialogue or a narrative passage related to the illustration above.



Handwritten Japanese text in kuzushiji script, located at the bottom of the illustration on the left page.

Handwritten Japanese text in kuzushiji script, located to the right of the illustration on the left page.





大^{らね}の草^{くさ}帙^し二^{ふた}編^{へん}

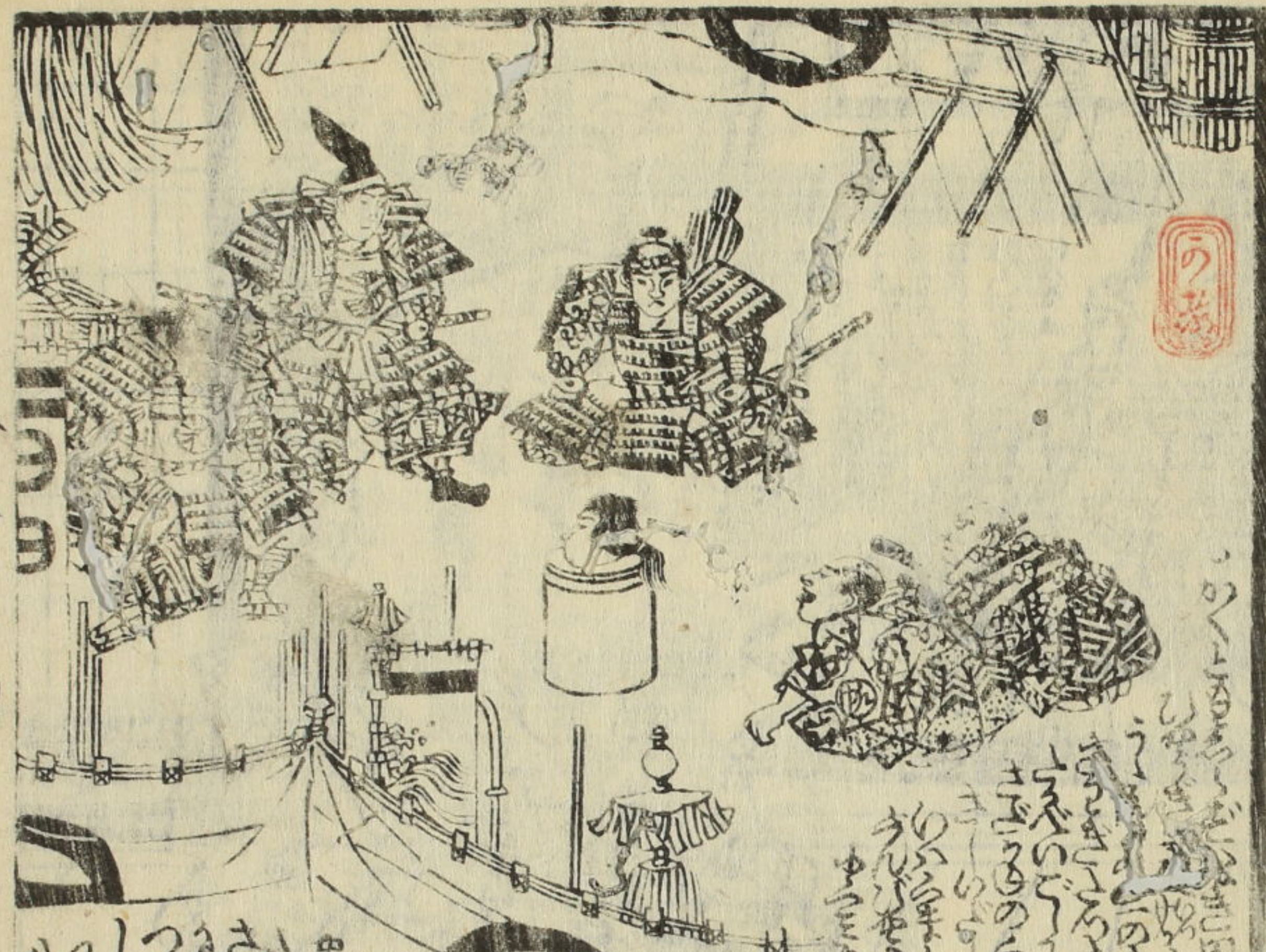
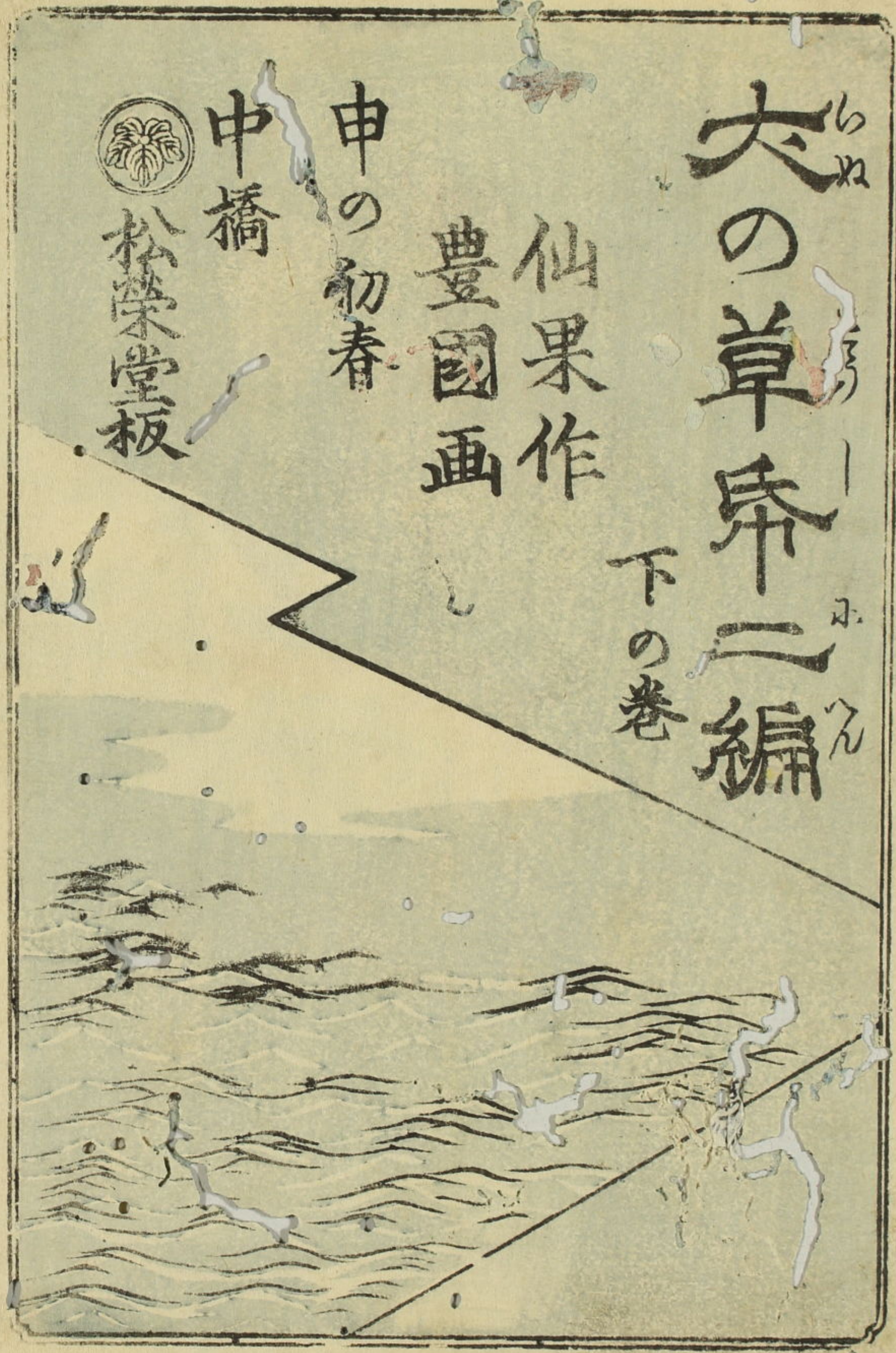
下の巻

仙果作
豊国画

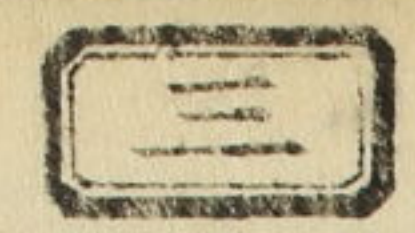
申の初春

中橋

松榮堂板



Vertical columns of handwritten text, likely commentary or a story related to the illustrations.



大いなるものぞくまこと
 ありまうりのいさぶらつと
 かしらうんちのひりかき
 せりあしらすうらちの
 まてあそむのくみ下を
 ひろくをうつをわたり
 らひんをのこしひりかき
 ちひらひひりかき
 のりひりかき
 うらちのうらち
 うらちのうらち
 えをうらちのうらち
 うらちのうらち
 うらちのうらち



大いなるものぞくまこと
 ありまうりのいさぶらつと
 かしらうんちのひりかき
 せりあしらすうらちの
 まてあそむのくみ下を
 ひろくをうつをわたり
 らひんをのこしひりかき
 ちひらひひりかき
 のりひりかき
 うらちのうらち
 うらちのうらち
 えをうらちのうらち
 うらちのうらち
 うらちのうらち



大いなるものぞくまこと
 ありまうりのいさぶらつと
 かしらうんちのひりかき
 せりあしらすうらちの
 まてあそむのくみ下を
 ひろくをうつをわたり
 らひんをのこしひりかき
 ちひらひひりかき
 のりひりかき
 うらちのうらち
 うらちのうらち
 えをうらちのうらち
 うらちのうらち
 うらちのうらち

大いなるものぞくまこと
 ありまうりのいさぶらつと
 かしらうんちのひりかき
 せりあしらすうらちの
 まてあそむのくみ下を
 ひろくをうつをわたり
 らひんをのこしひりかき
 ちひらひひりかき
 のりひりかき
 うらちのうらち
 うらちのうらち
 えをうらちのうらち
 うらちのうらち
 うらちのうらち



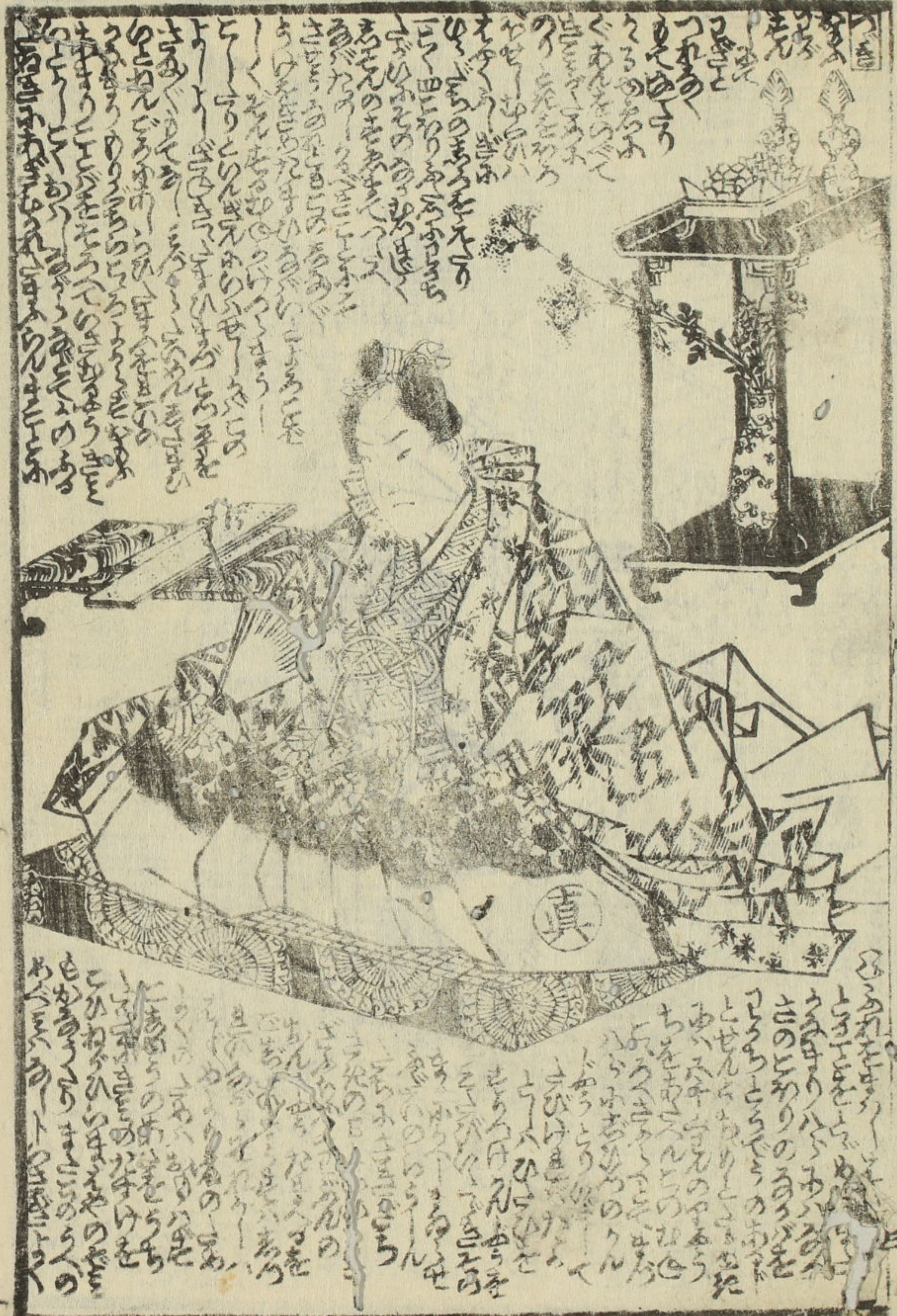
大いなるものぞくまこと
 ありまうりのいさぶらつと
 かしらうんちのひりかき
 せりあしらすうらちの
 まてあそむのくみ下を
 ひろくをうつをわたり
 らひんをのこしひりかき
 ちひらひひりかき
 のりひりかき
 うらちのうらち
 うらちのうらち
 えをうらちのうらち
 うらちのうらち
 うらちのうらち





如二

十一



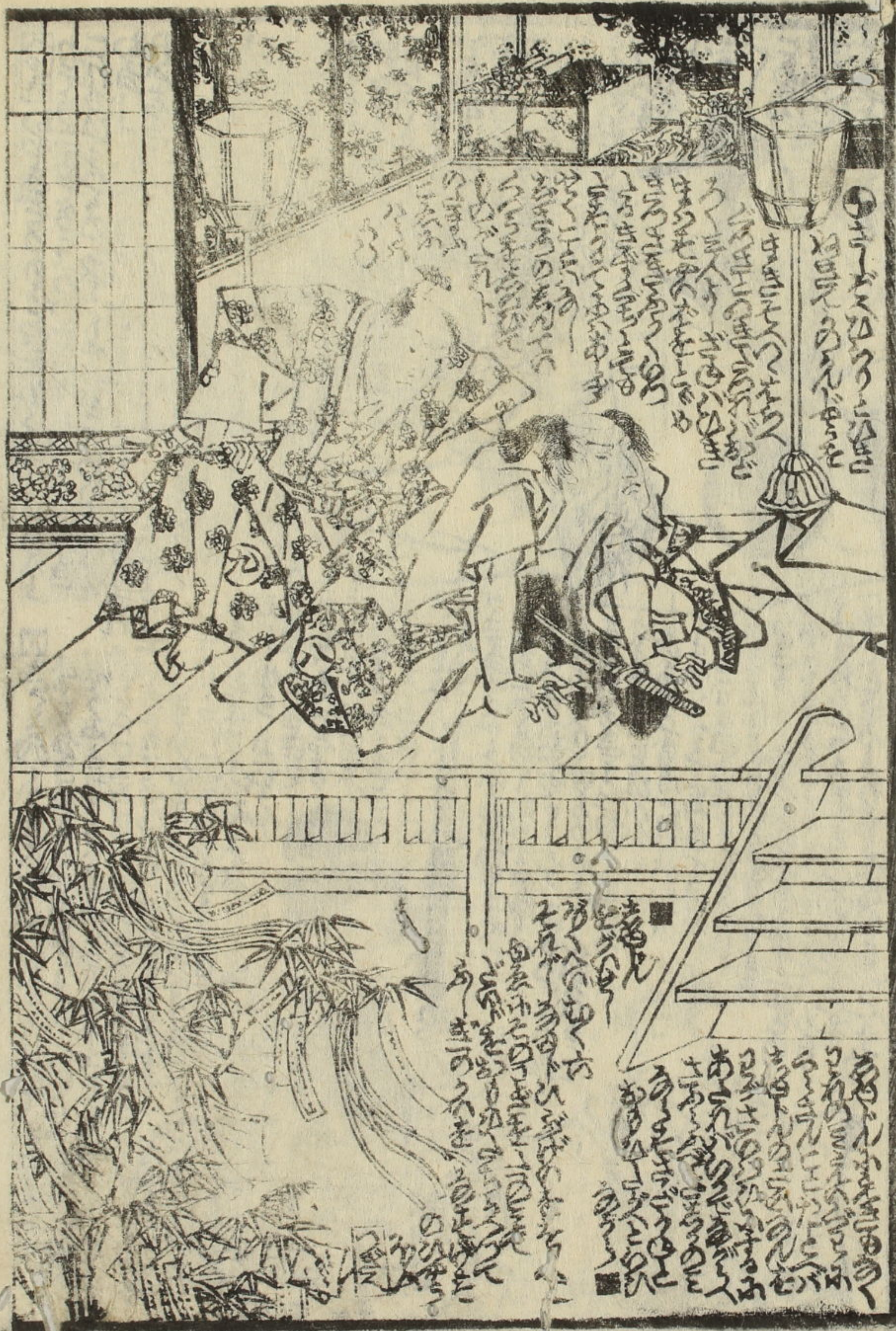
Handwritten Japanese text in the upper left corner of the right page, including the character '真' (Ma) and several vertical columns of text.

Handwritten Japanese text in the lower right corner of the right page, including the character '真' (Ma) and several vertical columns of text.



Handwritten Japanese text in the upper left corner of the left page, including the character '真' (Ma) and several vertical columns of text.

Handwritten Japanese text in the lower right corner of the left page, including the character '真' (Ma) and several vertical columns of text.



○此の曲は、
昔の歌に
かゝるもの
ありて、
其の調子
も、
昔の調子
に似たり。

○此の曲は、
昔の歌に
かゝるもの
ありて、
其の調子
も、
昔の調子
に似たり。

七



○此の曲は、
昔の歌に
かゝるもの
ありて、
其の調子
も、
昔の調子
に似たり。

○此の曲は、
昔の歌に
かゝるもの
ありて、
其の調子
も、
昔の調子
に似たり。

八

九

Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text, written in a cursive style.



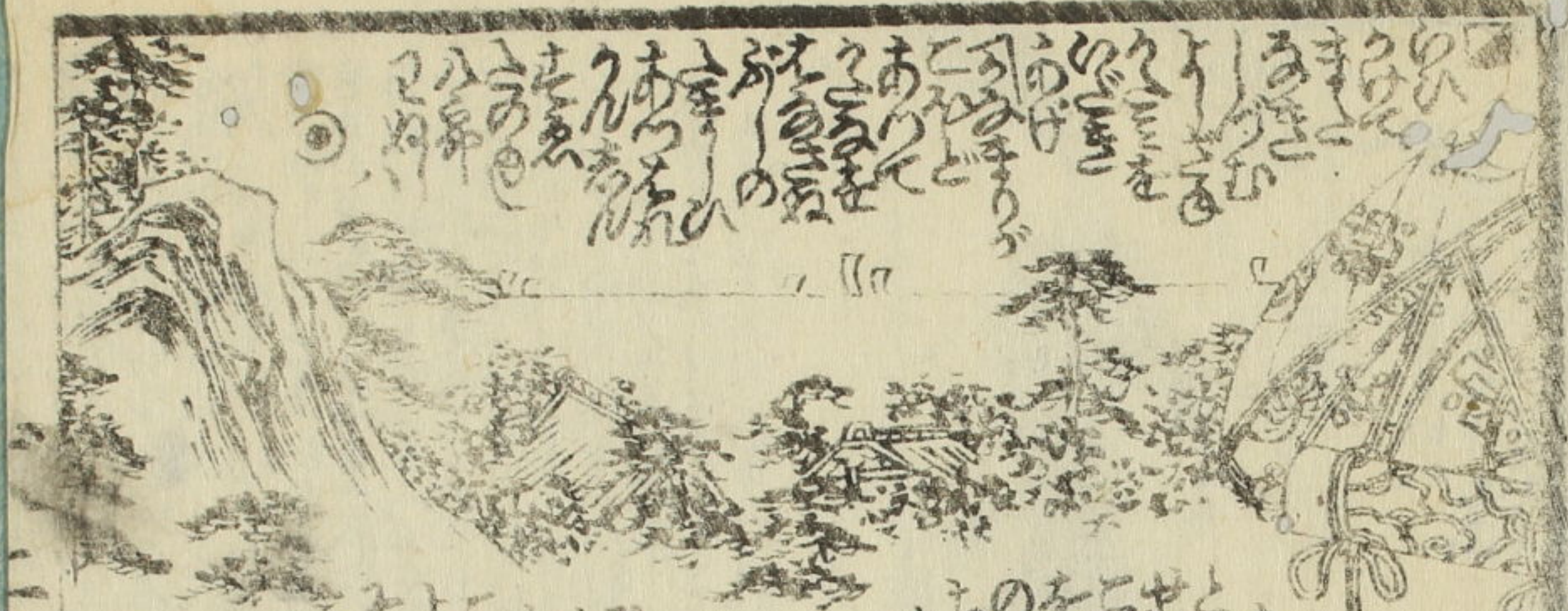
Handwritten text in vertical columns surrounding the illustration of the seated man, continuing the narrative or commentary.



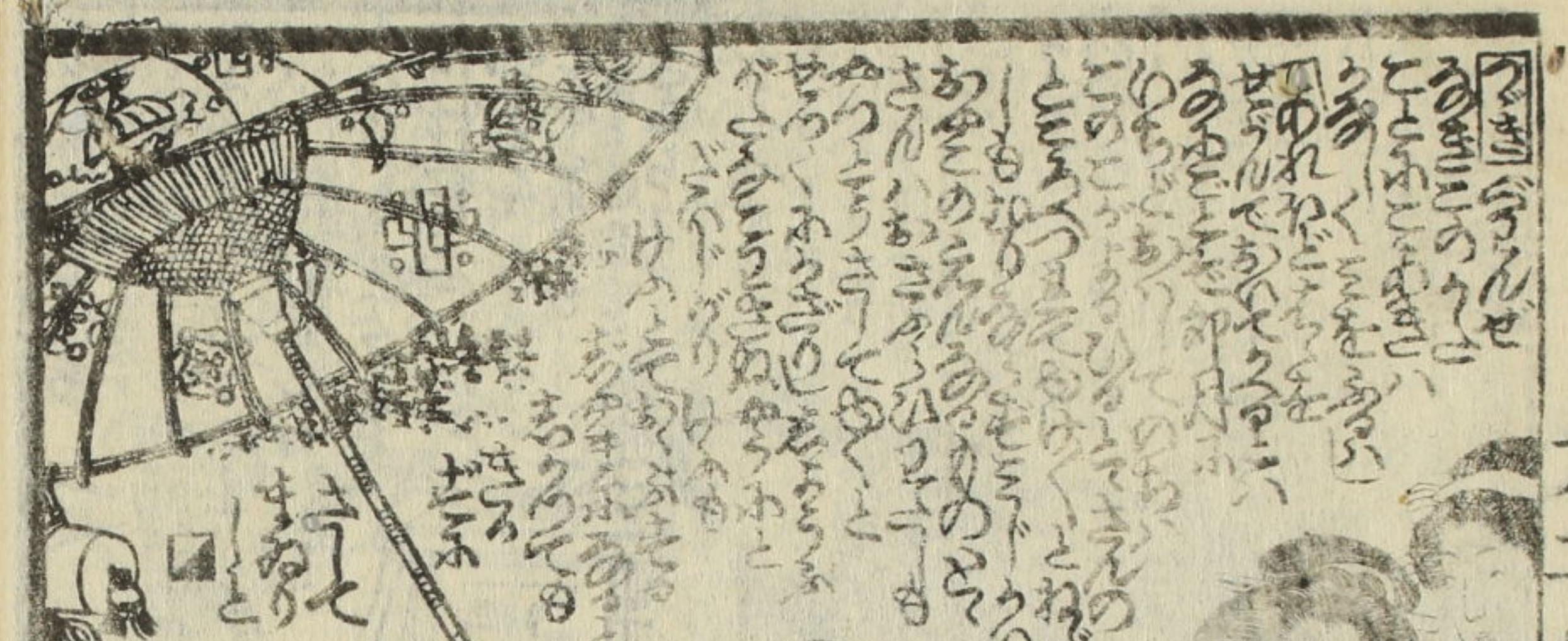
Handwritten text in vertical columns on the left side of the top panel, providing context for the scene.



Handwritten text in vertical columns surrounding the illustration of the kneeling man, continuing the narrative or commentary.



あつちの山を
 ながめて
 けしきを
 ながめて
 ...
 ◎のりかゝるまうらうのりかど
 子またあつちのいさかき
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...



あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...



あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...
 あつちの山を
 ...

久二年戊戌陽春開板標目

弘法大師
舊跡新話

筆海四國聞書

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

推現堂
堤復讐

假名情談戀哇倉

瀬川一昇作
梅蝶樓國貞画

倆時次郎
倆浦里

明鴉墨画迺禰禰

三亭春馬合作
梅蝶樓國貞画

童謡妙々車

十四編
種彦作
十六編
國貞画

花封舎玉章

六編種彦作
七編國貞画

薄傍幻日記

九編
春水作
十一編
國貞画

尖傳犬の舛紙

四編
柳亭録
四十五編
國貞画

地本草紙問屋

南傳馬町壹丁目
葛屋吉藏板

